

## 学会だより

### ◇ 会員の榮譽

二宮正士会員が平成30年度日本農学賞・読売農学賞を受賞

本会会員二宮正士氏は「農業情報研究分野の確立と先導」の業績により、日本農学会から平成30年度「日本農学賞」を授与されることが決定しました。日本農学賞は、農学上顕著な業績を挙げたものに対して日本農学会から贈られるものです。授与式ならびに受賞講演は平成30年4月5日（木）に東京大学弥生講堂において行われました。

### ◇ 平成30年度第1回運営委員会議事録

日時：2018年3月3日（土）14:00～17:55

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟1階 第1会議室

出席：堤伸浩、奥本裕、大澤良、伊藤純一、最相大輔、有村慎一、北柴大泰、犬飼剛、石川隆二、富田因則、齊藤大樹、草場信、甲斐浩臣、山本敏央、吉田均、佐藤和広【出席：16名】

欠席：石本政男、築山拓司【欠席：2名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

- ①次年度予算案について
- ②編集委員の新任について
- ③石原（志方）守一奨学金の承認手続きと授与式について
- ④代議員会の議題について
- ⑤日本学術振興会賞の推薦について
- ⑥学会賞、奨励賞の情報の確認方法について
- ⑦優秀発表賞の投票について

### ◇ 第5回代議員会議事録

日時：2018年3月24日（土）午後4時～午後7時

場所：九州大学農学部1号館6階大会議室（九州大学箱崎キャンパス）

出席者（理事・運営委員・監事）：堤伸浩、奥本裕、最相大輔、有村慎一、吉田均、犬飼剛、佐藤豊（農研機構）、加藤鎌司【8名】

平成28・29年代議員

出席：貴島祐治、佐藤裕、石川隆二、岡崎桂一、北柴大泰、高畑義人、大澤良、久保山勉、田中淳一、田中剛、半田裕一、山本敏央、木庭卓人、平野博之、吉田薫、掛

田克行、小林麻子、富田因則、土井一行、清水顕史、吉川貴徳、築山拓司、草場信、辻本壽、前川雅彦、穴井豊昭、甲斐浩臣、田浦悟、安井秀【29名】

欠席（議決権行使）：三浦秀穂、久保友彦、西尾剛、中村郁郎、石井尊生、友岡憲彦、伊藤純一、金勝一樹、松原健一郎、村井耕二【10名】

欠席：佐々英徳【1名】

平成30・31年代議員

出席：阿部純、高橋秀和、笹沼恒男、石本政男、江面浩、新倉聡、房相佑、岩田洋佳、岩崎行玄、中園幹生、三浦孝太郎、奥本裕、寺石政義、加藤鎌司、佐藤和広、久保貴彦、宮原克典【17名】

欠席（議決権行使）：加藤清明、畠山勝徳、矢野昌裕、井澤毅、高牟禮逸朗、横井修司【6名】

欠席：赤田辰治、米丸淳一、佐藤豊（遺伝研）、山根京子【4名】

議長：代表理事（堤会長）

議事録：運営委員（総務）

福岡空港が一時閉鎖された影響により、予定より1時間繰り下げて代議員会を開始した。開始時点での出席者数は、代議員会開催の定足数（過半数）に達していることを確認した。第1号、第2号特別議決案の審議の時刻には、平成28・29年代議員の出席者が29名に達していた。委任状による議決権行使の方法について、今後詳細を検討する必要があることが議長より提議された。

#### 1. 報告事項

（ア）平成30・31年度代議員選挙の結果が報告された（総務）。

（イ）平成30・31年度会長・副会長意向投票の結果が報告された（総務）。

（ウ）平成30・31年度運営委員および各種委員について報告された（総務）。

（エ）運営委員報告

会員数の推移、BS・学会誌発行部数、HP更新・メール配信数、契約、石原（志方）守一奨学金受賞者（庶務）、BS・シンボ科研費執行状況（科研費）、農学会シンポジウム等（農学会）、各地域の活動報告（地域）、会計報告（会計）、英文誌および和文誌編集状況等（編集）、今大会開催予定、次大会開催予定（集会）より報告があった。

（オ）平成29年度事業報告（代表理事）

（カ）平成29年度事業・会計監査結果の報告（監事）

#### 2. 審議事項

（ア）特別決議議案 第1号議案 役員（理事2名及び監事2名）の解任について

投票結果に基づき、理事2名および監事2名が解任された。

(イ) 特別決議議案 第2号議案 次期役員(理事2名及び監事2名)の選任について

投票結果に基づき、以下の理事2名および監事2名が選任された。

|          |       |
|----------|-------|
| 代表理事(会長) | 奥本裕   |
| 理事(副会長)  | 大澤良   |
| 監事       | 吉村淳   |
| 監事       | 矢野恵理子 |

尚、奥本新代表理事は、代議員を退き次点者が繰り上がることが確認された。

(ウ) 平成30年予算案について(会計)

審議の結果、承認された。

(エ) 第15回(平成29年度)論文賞の選考(総務)

学会賞等選考委員長より第15回(平成29年度)論文賞に推薦された以下の3報の論文が紹介された。

論文1: Multiple organ gigantism caused by mutation in *VmPPD* gene in blackgram (*Vigna mungo*). *Breed Sci* 67(2): 151–158

Ken Naito, Yu Takahashi, Bubpa Chaitieng, Kumi Hirano, Akito Kaga, Kyoko Takagi, Eri Ogiso-Tanaka, Charaspon Thavarasook, Masao Ishimoto, Norihiko Tomooka

論文2: Development and characterization of a strawberry MAGIC population derived from crosses with six strawberry cultivars. *Breed Sci* 67(4): 370–381

Takuya Wada, Koichiro Oku, Soichiro Nagano, Sachiko Isobe, Hideyuki Suzuki, Miyuki Mori, Kinuko Takata, Chiharu Hirata, Katsumi Shimomura, Masao Tsubone, Takao Katayama, Keita Hirashima, Yosuke Uchimura, Hidetoshi Ikegami, Takayuki Sueyoshi, Ko-ichi Obu, Tatsuya Hayashida, Yasushi Shibato

論文3: Phenotypic changes during 100-year rice breeding programs in Hokkaido. *Breed Sci* 67(5): 528–534

Kenji Fujino, Tsutomu Nishimura, Hitoshi Kiuchi, Yuji Hirayama, Takashi Sato

投票の結果、出席者の3分の2以上の可票を得、全てが論文賞として承認された。

(オ) 平成30年度学会賞等選考委員(6名)の選出(総務)

代議員による投票の結果、以下の6名が選出された。  
矢野昌裕、加藤鎌司、佐藤和広、江面浩、阿部純、辻本壽

(カ) 平成30–31年度シンポジウム委員(5名)の選出(総務)

代議員による投票の結果、以下の5名が選出された。  
草場信、久保友彦、土井一行、岩田洋佳、横井修司

(キ) 次期BS・育種学研究 編集委員について(編集)

審議の結果、石川隆二氏(弘前大学)と加賀秋人氏(農研機構)の2名の編集委員の新任が承認された。

(ク) その他

平成30・31年度運営委員の男女構成比について意見があった。

3. その他

(ア) 関連報告

シンポジウム委員会、男女共同参画推進委員会、記者発表、JABEE公益財団法人農学会技術者教育推進委員会、LMO/ABS連絡会より報告があった。LMO/ABS連絡会より提示された“DSI(デジタル配列情報)”についての学会声明(提言)案については以下の意見が出され、LMO/ABS連絡会で引き続き検討を継続し、学会員宛メールにて周知することとなった。

(イ) その他

運営委員(総務)より、講演会の優秀発表賞の投票について説明があった。

## ◇ 第133回講演会選定課題記者発表報告

発表日時: 平成30年3月16日(金曜) 14:00～15:30

発表場所: 東京大学弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟講義室

出席者: 大澤良、有村慎一

参加機関: 日経BP、日本農業新聞、化学工業日報、読売新聞、日経新聞

発表タイトル:

(1) レジスタントスターチ含量が高い米粉用水稲「ちくし粉85号」の育成

(2) イネ長穂性を制御する遺伝子Pr15の機能解析

(3) イネにおける変異誘発育種技術間のゲノム内変異発生数の比較

講演タイトル:

(1) 313「レジスタントスターチ含量が高い米粉用水稲「ちくし粉85号」の育成」

山口修<sup>1</sup>、石橋正文<sup>1</sup>、宮原克典<sup>1</sup>、和田卓也<sup>1</sup>、坪根正雄<sup>1</sup>、井上敬<sup>2</sup>、尾形武文<sup>3</sup>、宮崎真行<sup>4</sup>(1. 福岡県農林業総合試験場、2. 福岡県北九州普及指導センター、3. 福岡県農林業総合試験場豊前分場、4. 福岡県農林水産部)

(2) 517「イネ長穂性を制御する遺伝子Pr15の機能解析」  
縣歩美<sup>1</sup>、保浦徳昇<sup>2</sup>、安藤考紀<sup>1</sup>、藤城靖子<sup>1</sup>、池田真由子<sup>2</sup>、松岡信<sup>2</sup>、土井一行<sup>1</sup>、北野英己<sup>2</sup>(1. 名大院生命農学、2. 名大生物機能開発利用研究センター)

(3) P060「イネにおける変異誘発育種技術間のゲノム内変異発生数の比較」

津田麻衣<sup>1</sup>、伊藤剛<sup>2</sup>、大嶋雅夫<sup>1</sup>、遠藤真咲<sup>3</sup>、田部井豊<sup>3</sup>、大澤良<sup>1</sup>、西村宜之<sup>4</sup>(1. 筑波大学T-PIRC、2. 農研機構・高度解析センター、3. 農研機構・生物機能利用研究部門、4. 農研機構・次世代作物開発研究センター)

## ◇ 石原（志方）守一 奨学金受賞報告

運営委員会で審議の結果、以下の4名の優秀発表受賞者を平成29年度の石原（志方）守一奨学金受賞者と決定した。

【第131回大会】

講演番号420：三上雅史（横浜市大院）

講演番号502：竹島亮馬（北大・院農）

【第132回大会】

講演番号117：吉津祐貴（岩手大・農）

講演番号221：金川真実（東大院農学生命科学）

## ◇ 第133回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2018年日本育種学会春季大会（第133回講演会）における日本育種学会優秀発表賞が下記の11課題に決定された。

**講演番号513**：イネ受精卵へのCRISPR/Cas9ベクターおよびCas9タンパク質-gRNA複合体の直接導入によるゲノム編集技術の確立

☆戸田絵梨香<sup>1,2</sup>、古磯成美<sup>2</sup>、竹林有理佳<sup>1</sup>、市川雅子<sup>3</sup>、木羽隆敏<sup>1</sup>、刑部祐里子<sup>1,4</sup>、岡本龍史<sup>1,2</sup>、加藤紀夫<sup>1,2,3</sup>（1. 理研・RInC, 2. 首都大・理工・生命科学, 3. 日本たばこ産業・植物イノベーションセンター, 4. 徳島大・生物資源）

**講演番号517**：イネ長穂性を制御する遺伝子Pr15の機能解析

☆縣步美<sup>1</sup>、保浦徳昇<sup>2</sup>、安藤考紀<sup>1</sup>、藤城靖子<sup>1</sup>、池田真由子<sup>2</sup>、松岡信<sup>2</sup>、土井一行<sup>1</sup>、北野英己<sup>2</sup>（1. 名大院生命農学, 2. 名大生物機能開発利用研究センター）

**講演番号103**：普通ソバにおけるAmpliSeqを利用した効率的な遺伝解析

☆竹島亮馬<sup>1</sup>、小木曾映里<sup>1</sup>、安井康夫<sup>2</sup>、松井勝弘<sup>1</sup>（1. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 2. 京都大・院農）

**講演番号206**：野外栽培イネのプロリゲン遺伝子等の深層学習による環境応答モデリング

☆細貝拓磨、井澤毅（東大院農学生命科学）

**講演番号P007**：イネ *sugary1* 変異、及び *sugary2* 変異の胚乳澱粉改変効果

☆中村哲洋、熊丸敏博（九州大・院生資環）

**講演番号306**：RNA-seqデータからみたエギロプス属 *Sitopsis* 節の種間関係とパンコムギBゲノムの起原

☆三木祐香<sup>1</sup>、吉田健太郎<sup>1</sup>、佐藤和広<sup>2</sup>、宅見薫雄<sup>1</sup>（1. 神戸大院農, 2. 岡山大植物研）

**講演番号113**：文献情報を用いたGWA解析

☆塩田将平<sup>1</sup>、平野恒<sup>1</sup>、矢野憲司<sup>1,5</sup>、小竹敬久<sup>2</sup>、吉田晋弥<sup>4</sup>、北野英己<sup>3</sup>、松岡信<sup>1</sup>（1. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター植物分子育種, 2. 埼玉大学大学院理工学研究科生命科学部門, 3. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター有用農業形質保存, 4. 龍谷大学・

食農研, 5. 東京大学農学生命科学研究科応用生命化学専攻植物栄養・肥料学研究室）

**講演番号404**：水稻新品種「いちほまれ」の食味特性

☆町田芳恵、小林麻子、中岡史裕、両角悠作、富田桂（福井県農業試験場）

**講演番号110**：全ゲノムSNPを用いたGWASにおけるSNP-set解析の可能性

☆石森元幸<sup>1</sup>、鐘ヶ江弘美<sup>1</sup>、山崎清志<sup>1</sup>、高梨秀樹<sup>1</sup>、藤本優<sup>1</sup>、米田淳一<sup>2</sup>、徳永毅<sup>2</sup>、藤原徹<sup>1</sup>、堤伸浩<sup>1</sup>、岩田洋佳<sup>1</sup>（1. 東京大・院農学生命科学, 2. アースノート（株））

**講演番号202**：RNA-seqデータに基づく一粒系コムギのゲノムワイド多型の検出とその利用

☆道川麻美<sup>1</sup>、吉田健太郎<sup>1</sup>、佐藤和広<sup>2</sup>、宅見薫雄<sup>1</sup>（1. 神戸大院農, 2. 岡山大植物研）

**講演番号614**：アジアイネとアフリカイネの交雑後代で見出された細胞質雄性不稔性とその稔性回復に関わる新規相互作用の遺伝解析

☆金岡義高<sup>1</sup>、山形悦透<sup>2</sup>、陳孫祿<sup>1</sup>、菊池駿太<sup>1</sup>、小出陽平<sup>1</sup>、安井秀<sup>2</sup>、吉村淳<sup>2</sup>、貴島祐治<sup>1</sup>（1. 北大・院農, 2. 九大・院農）

## ◇ 地域談話会だより

### 〈北海道地区〉

2017年12月2日（土）に酪農学園大学（江別市）において、日本育種学会・日本作物学会北海道談話会シンポジウム、年次講演会並びに総会が開催された。バレイショに関する7つのシンポジウム演題に加え、一般講演では43題の発表があった。一般講演を行った若手（35歳未満）の講演者の中で、特に優れた講演発表を行った者を審査員の投票により選定、表彰した。本年度の優秀賞には講演番号107の坂口俊太郎（北海道大学）、講演番号203の池ヶ谷智仁（北海道農業研究センター）および講演番号304の針谷康平（北海道大学）の3名、奨励賞には講演番号102の金岡義高（北海道大学）、講演番号104の山森晃一（北海道大学）、講演番号201の竹澤広基（北海道大学）、講演番号207の長岡詩帆（酪農学園大学）、講演番号302の林優季乃（北海道大学）および講演番号303の山下一騎（弘前大学）の6名が選ばれた。

◎平成29年度シンポジウム「北海道のバレイショ生産と利用を支える農業研究の最前線」

シンポジウム講演

「北海道のバレイショ需給動向」

森嶋輝也（九州沖縄農業研究センター）

「北海道におけるバレイショ育種の概略と成果」

大波正寿（北海道立総合研究機構北見農業試験場）

「ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種育成の現



状と将来展望」

浅野賢治（北海道農業研究センター）

「バレイショ中間育種事業の現状と課題」

保坂和良（帯広畜産大学）

「種バレイショ生産における小粒種いも増収技術」

江部成彦（道総研中央農業試験場）

「生育モデルを用いたバレイショ収量ポテンシャルの解析」

出口哲久（北海道教育大学）

「画像解析によるバレイショの生長計測」

杉浦綾（北海道農業研究センター）

◎平成 29 年度一般公演（○は講演者）

101 イネの蒴培養における由来の異なる小孢子カールの形成過程。○伊藤智憲・岡本吉弘・我妻尚広（酪農大）

102 ジャポニカイネ台中 65 号に見いだされた細胞質雄性不稔性に対する稔性回復因子の特徴づけ。○金岡義高<sup>1</sup>・山形悦透<sup>2</sup>・陳孫祿<sup>1</sup>・菊池駿太<sup>1</sup>・小出陽平<sup>1</sup>・安井秀<sup>2</sup>・吉村淳<sup>2</sup>・貴島祐治<sup>1</sup>（1. 北大院農, 2. 九大院農）

103 イネ小穂における護穎および副護穎が伸長する 4 つの変異体の遺伝解析。○稲田江里・小矢崎慧・高橋奈那・川島拓也・川原千佳・高牟禮逸朗（北大院農）

104 イネ系統間の穂ばらみ期低温処理によって生じる蒴構造の変化とゲノムワイドな発現変動の比較解析。○山森晃一<sup>1</sup>・菊池駿太<sup>1</sup>・石黒聖也<sup>1</sup>・小笠原慧<sup>1</sup>・小出陽平<sup>1</sup>・藤野介延<sup>1</sup>・佐藤裕<sup>2</sup>・貴島祐治<sup>1</sup>（1. 北大院農, 2. 北農研）

105 セルソーターを用いたイネ花粉及び小孢子の単粒抽出。○島崎優樹<sup>1</sup>・増田到<sup>2</sup>・金岡義高<sup>2</sup>・貴島祐治<sup>2</sup>・小出陽平<sup>2</sup>（1. 北大農, 2. 北大院農）

106 遺伝距離を異にした交雑 F1 の形質とトランスクリプトームの解析。○宇津康太郎・胡娜・斉藤希・吉住遥香・小出陽平・貴島祐治（北大院農）

107 北海道イネ系統間の超越分離に由来する極早生形質の遺伝解析。○坂口俊太郎<sup>1</sup>・内山亮<sup>2</sup>・太田雄也<sup>2</sup>・手塚あゆみ<sup>3</sup>・永野惇<sup>3</sup>・小出陽平<sup>2</sup>・貴島祐治<sup>2</sup>（1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 龍谷大農）

108 *OryzaAA* ゲノム種間の RTBV 感受性の比較解析。○吉住遥香<sup>1</sup>・斉藤希<sup>2</sup>・宇津康太郎<sup>2</sup>・貴島祐治<sup>2</sup>（1. 北大農, 2. 北大院農）

109 ジャガイモ Y ウイルス抵抗性遺伝子 *Ryhc* を多重式に有する育種素材候補系統の特性評価。○赤井浩太郎・浅野賢治・下坂悦生・田宮誠司（北農研）

110 根菜類の肥大要因の解明に向けた試験管内培養系の利用。○数田直也・藤野介延・津釜大侑（北大農）

201 北海道水稲多収品種における葉位別光合成速度と収量の関係。○竹澤広基<sup>1</sup>・若林侑<sup>1</sup>・菊地俊希<sup>2</sup>・中島大賢<sup>1</sup>・西村努<sup>3</sup>・市川伸次<sup>4</sup>・柏木純一<sup>1</sup>（1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 上川農試, 4. 北大 FSC）

202 北海道水稲品種におけるソース能の経時変化が収量安定性に及ぼす影響。○若林侑<sup>1</sup>・竹澤広基<sup>1</sup>・中島大賢<sup>1</sup>・西村努<sup>2</sup>・道満剛平<sup>2</sup>・木下雅文<sup>3</sup>・市川伸次<sup>4</sup>・柏木純一<sup>1</sup>（1. 北大院農, 2. 上川農試, 3. 中央農試, 4. 北大 FSC）

203 北海道水稲在来品種群の成立過程。○池ヶ谷智仁・小原真理・藤野賢治（北農研）

204 北海道で育成された秋播性コムギ新旧品種の比較—子実収量および収量関連形質—。○古橋拓弥・竹林佳南・義平大樹（酪農大）

205 ハルガヤのアレロケミカルの蓄積と草地更新に与える影響。○毛糠智子<sup>1</sup>・平田聡之<sup>2</sup>・沖野龍文<sup>3</sup>・山田敏彦<sup>2</sup>（1. 北大院環境, 2. 北大 FSC, 3. 北大地球研）

206 子実用トウモロコシに対する千鳥播および狭畦栽培による増収効果—追肥窒素が増収効果とその栽植密度反応に及ぼす影響—。○土井希晃<sup>1</sup>・長岡詩帆<sup>1</sup>・宋粮<sup>1</sup>・佐藤智宏<sup>2</sup>・村井祐介<sup>3</sup>・義平大樹<sup>1</sup>（1. 酪農大, 2. 北大院農, 3. パイオニア, 4. カネコ種苗）

207 子実用トウモロコシに対する葉位別摘葉処理が収量および収量関連形質に及ぼす影響。○長岡詩帆<sup>1</sup>・土井希晃<sup>1</sup>・宋粮<sup>1</sup>・中島大賢<sup>2</sup>・佐藤智宏<sup>3</sup>・村井祐介<sup>4</sup>・義平大樹<sup>1</sup>（1. 酪農大, 2. 北大院農, 3. パイオニア, 4. カネコ種苗）

208 子実用トウモロコシに対する千鳥播および狭畦栽培による増収効果—増収効果の栽植密度反応における品種間差異と、受光態勢からみた要因解析—。○宋粮<sup>1</sup>・土井希晃<sup>1</sup>・長岡詩帆<sup>1</sup>・佐藤智宏<sup>2</sup>・村井祐介<sup>3</sup>・義平大樹<sup>1</sup>（1. 酪農大, 2. パイオニア, 3. カネコ種苗）

209 カルシウムおよびホウ素入り複化成肥料「PKB 硫カル」の施用がダイズ品種「ユキホマレ」の生育および収量に及ぼす影響。○北畠拓也<sup>2</sup>・笹木駿<sup>1</sup>・平山宝<sup>3</sup>・義平大樹<sup>1</sup>（1. 酪農大, 2. 東罐マテリアル・テクノロジー, 3. 片倉コープアグリ）

210 北海道中央部における長稈性秋播性ライムギに対する窒素施肥配分および植物調整剤との組み合わせが収量に及ぼす影響。○義平大樹<sup>1</sup>・川西壮史<sup>1</sup>・秋本正博<sup>2</sup>（1. 酪農大, 2. 帯畜大）

211 品種、播種深度、および播種量がキノアの子実収量に与える影響。○近藤聖・大道雅之（拓大道短大）

301 加工用トマト成分の品種間差と登熟過程における成分の変化。○山田加一朗・五十嵐俊成（食加研）

302 ダイズ種子における抗酸化能と総ポリフェノール含有量の関係性。○林優季乃<sup>1</sup>・マリア・ステファニ・ドゥイヤンティ<sup>2</sup>・鈴木卓<sup>2</sup>・阿部純<sup>2</sup>・山田哲也<sup>2</sup>（1. 北大農, 2. 北大院農）

303 ダイズの種皮におけるプロアントシアニジン蓄積およびリグニン沈着の比較解析。○山下一騎・平岡未帆・千田峰生（弘前大）

304 ダイズのフロリゲン遺伝子 *-FT2a-* の開花後の生殖生長への影響。○針谷康平<sup>1</sup>・竹島亮馬<sup>2</sup>・山田哲也<sup>1</sup>

- 孔凡江<sup>3</sup>・阿部純<sup>1</sup> (1. 北大院農, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 3. 中国科学院)
- 305 アズキの感光性遺伝子 *FDI* の詳細マッピング. ○井元佑亮<sup>1</sup>・堀内優貴<sup>2</sup>・山本博規<sup>1</sup>・吉川晶子<sup>1</sup>・森正彦<sup>1</sup>・佐藤仁<sup>2</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
- 306 スペルトコムギとパンコムギの交雑集団を用いた種子休眠性に関する QTL 解析. ○吉川光貴・坂井祐希・前野耕平・三浦秀穂・大西一光 (帯畜大)
- 307 *Wx-B1* 座およびクラブコムギ由来のグルテニンサブユニットが秋まき小麦の品質や農業特性に与える影響. ○其田達也<sup>1</sup>・佐藤三佳子<sup>1</sup>・鈴木孝子<sup>2</sup>・大西志全<sup>1</sup>・粕谷雅志<sup>1</sup>・神野裕信<sup>1</sup> (1. 北見農試, 2. 中央農試)
- 308 テンサイに低化学量比で存在する新規 DNA 分子の同定. ○田添沙織・村田智己・大久保めぐみ・栗野里香・久保友彦・北崎一義 (北大院農)
- 309 アメリカから導入した萎黄性ウイルス病抵抗性系統の農業特性. ○岡崎和之・黒田洋輔・高篠賢二・上田重文・松平洋明・田口和憲 (北農研)
- 310 ビート西部萎黄ウイルス感染によるテンサイ成葉部黄化症状の系統変異. ○黒田洋輔・高篠賢二・岡崎和之・上田重文・松平洋明・田口和憲 (北農研)
- 311 テンサイ直播栽培における栽植密度と品種反応の比較. ○松平洋明・岡崎和之・黒田洋輔・上田重文・田口和憲 (北農研)
- 401 植付時期の違いが細胞質遺伝子型が異なるバレイショ品種の収量に及ぼす影響. ○津田昌吾・中尾敬・辻博之・田宮誠司 (北農研)
- 402 バレイショ収穫時に散播した秋まきコムギの出芽と生育. ○辻博之・寺沢洋平・伊藤美環子・八田浩一・津田昌吾・中尾敬・土屋史紀・田引正 (北農研)
- 403 十勝地方における気象要因による馬鈴しょの収量変動を考える. ○柳沢朗 (十勝農試)
- 404 北海道の気象及び畑作物の成熟期の変化. ○島田尚典 (北見農試)
- 405 米国と中国におけるバレイショ栽培状況. ○岩間和人 (北大)
- 406 アズキの胚軸長に関わる遺伝子座の特定. ○森正彦<sup>1</sup>・河原大悟<sup>1</sup>・山崎絵里子<sup>1</sup>・永野惇<sup>2</sup>・佐藤仁<sup>3</sup>・加藤清明<sup>1</sup> (1. 帯畜大, 2. 龍谷大, 3. 十勝農試)
- 407 アズキ品種における近縁係数と遺伝的距離からみた関係. ○梶田路津子<sup>1</sup>・玉掛秀人<sup>2</sup> (1. 中央農試, 2. 道総研農研本部)
- 408 新規コムギ縞萎縮病抵抗性遺伝資源「OW104」の遺伝解析. ○山下陽子<sup>1</sup>・鈴木孝子<sup>2</sup>・小倉玲奈<sup>1</sup> (1. 中央農試, 2. 北海道農政部)
- 409 秋まき小麦「きたほなみ」に導入した赤かび病抵抗性 QTL の効果と QTL に連鎖する不良形質. ○大西志全<sup>1</sup>・小林聡<sup>1</sup>・鈴木孝子<sup>2</sup>・粕谷雅志<sup>1</sup>・其田達也<sup>1</sup>・神野裕信<sup>1</sup> (1. 北見農試, 2. 中央農試)
- 410 穂型からみたイネとコムギの中間型としてのエン

バク (2). ○高田寛之 (農研機構)

411 極大粒大豆「ゆめのつる」における割れ粒の発生について. ○田澤暁子 (道南農試)

## 〈中国地区〉

### 中国地域育種談話会報告

2017 年 11 月 25 日 (土)・26 日 (日), 広島大学東広島キャンパスにおいて, 第 9 回中国地域育種談話会が広島大学の「次世代を救う 広大発 Green Revolution を創出する植物研究拠点」事業と共催で開催された. 参加人数 82 名, 特別講演 1 題, 招待講演 4 題, 口頭発表 7 題, ポスター発表 32 題であった. 優秀発表賞は, 白井一正 (O-1), 笹井瑠美 (O-6), 藤田貴文 (O-7), 鳥居怜平 (P-27) の 4 名に授与された. また, 第 10 回中国地域育種談話会は, 田中裕之先生を大会委員長として, 鳥取大学農学部で開催されることになった.

【特別講演】「果樹ゲノムが紐解く植物性決定の多様性と一般性」

○赤木剛士<sup>1,2</sup> (1. 京都大院農学研究科, 2. JST- さきがけ)

【招待講演 1】農研機構におけるブドウベと病抵抗性育種 ○河野淳 (農研機構・果樹茶業研究部門)

【招待講演 2】高糖分・高消化性 WCS 用イネ品種の育成 ○中込弘二 (農研機構・西日本農業研究センター)

【招待講演 3】「アグロバクテリアが運ぶ DNA は T-DNA だけなのか?—バクテリアの接合システムから見えてきたもの—」 ○守口和基・井上万莉野・三宅純・垣内大志・奥田健斗・山本真司・清川一矢・鈴木克周 (広島大院・理)

【招待講演 4】ナトリウムはイネの生育促進に寄与するのか? ○上田晃弘 (広島大生物圏)

【口頭発表 1】栽培ダイコンの起源を探る ○白井一正<sup>1</sup>・石塚航<sup>2</sup>・手塚あゆみ<sup>3</sup>・豊田敦<sup>4</sup>・藤山秋佐夫<sup>4</sup>・清水みなみ<sup>5</sup>・鈴木穰<sup>6</sup>・彦坂幸毅<sup>7</sup>・森長真一<sup>8</sup>・花田耕介<sup>1,5</sup> (1. 九工大, 2. 道総研, 3. 龍谷大・農, 4. 遺伝研, 5. 理研 CSRS, 6. 東大・新領域, 7. 東北大・生命, 8. 日大・生物資源)

【口頭発表 2】多重合成コムギ派生集団 (MSD) を用いたリン欠乏耐性選抜 ○山崎裕司<sup>1</sup>・Yasir S. A. Gorafi<sup>1</sup>・Izzat S. A. Tahir<sup>2</sup>・辻本壽<sup>1</sup> (1. 鳥取大学乾燥地研究センター, 2. スーダン農業研究機構)

【口頭発表 3】二倍体種キクタクニギクの自家和合性変異体を利用したキク属モデル系統の作出 ○中野道治・谷口研至・小塚俊明・草場信 (広島大院・理)

【口頭発表 4】大麦の品質関連要因の解析—硝子粒とモチ性について— ○池田達哉<sup>1</sup>・大森誉紀<sup>2</sup>・前島秀和<sup>3</sup>

(1. 農研機構, 西日本農研, 2. 愛媛県農林水産研, 3. 長野県農試)

【口頭発表5】カンボジアにおけるメロン遺伝資源の収集及び農業形質の多様性評価 ○嶋田玄太郎<sup>1</sup>・田中克典<sup>2</sup>・Sreynech Ouch<sup>3</sup>・Sopheya Yon<sup>3</sup>・Sophany Sakhan<sup>3</sup>・杉山充啓<sup>4</sup>・友岡憲彦<sup>5</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命, 2. 弘前大農生命, 3. カンボジア農業研, 4. 農研機構・野菜花き研究部門, 5. 農研機構・遺伝資源セ)

【口頭発表6】サツマイモ ( $2n=6x=90$ ) における高密度連鎖地図を用いたネコブセンチュウ抵抗性関連マーカーの開発 ○笹井瑠美<sup>1</sup>・田淵宏朗<sup>2</sup>・岸本和樹<sup>1</sup>・白澤健太<sup>3</sup>・岡田吉弘<sup>2</sup>・藏本晃栄<sup>4</sup>・小林晃<sup>2</sup>・磯部祥子<sup>3</sup>・田原誠<sup>1</sup>・門田有希<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命科学, 2. 九沖農研, 3. かずさ DNA 研究所, 4. 京都大院農学)

【口頭発表7】耐塩性植物ローズグラスの塩類腺からの塩排出特性 ○藤田貴文・宗廣理子・実岡寛文・上田晃弘 (広島大生物圏)

#### 【ポスター発表】

【P1】サツマイモ立枯病抵抗性選抜 DNA マーカーの開発 ○文屋慧亮<sup>1</sup>・相川祥胤<sup>1</sup>・白澤健太<sup>2</sup>・岡田吉弘<sup>3</sup>・謝花治<sup>4</sup>・藏本晃栄<sup>5</sup>・今井佑美<sup>6</sup>・磯部祥子<sup>2</sup>・田原誠<sup>1</sup>・門田有希<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命科学, 2. かずさ DNA 研究所, 3. 九沖農研, 4. 沖縄農研, 5. 京大院農, 6. 鳥大技術部)

【P2】Seed shriveling and chromosome rearrangement caused by gametocidal gene of *Aegilops speltoides*, Gc1a, introduced to bread wheat ○E. M. H. Babiker<sup>1</sup>, Y. Yamasaki<sup>2</sup>, J.-S. Kim<sup>3</sup>, Y. Gorafi<sup>2</sup>, H. Tsujimoto<sup>2</sup> (1. Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2. Arid Land Research Center, Tottori University, 3. RIKEN)

【P3】アワにおけるゲノムワイドインデルマーカーの作出, および連鎖地図の作成 諏訪汐梨<sup>1</sup>・阿部友里香<sup>1</sup>・新川雄基<sup>1</sup>・向成洋平<sup>1</sup>・中山雄介<sup>1</sup>・菅裕<sup>1</sup>・高木宏樹<sup>2,3</sup>・寺内良平<sup>2,4</sup>・○福永健二<sup>1</sup> (1. 県立広島大生命環境学, 2. 岩手生物工学研究センター, 3. 石川県立大学, 4. 京都大学農学研究科)

【P4】レトロトランスポゾン挿入部位を利用したイチゴの品種判定マーカーの開発 ○船引健史<sup>1</sup>・石川涼子<sup>2</sup>・進藤彰子<sup>1</sup>・門田有希<sup>1</sup>・田原誠<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命科学, 2. アヲハタ株式会社)

【P5】Geographical distribution and origin of early-flowering alleles for novel earliness genes WPCL1 in wheat ○Gulam Kibria Md Numanul Haque<sup>1</sup>, Keiko Kiribe<sup>1</sup>, Hinako Sato<sup>1</sup>, Hidetaka Nishida<sup>1</sup>, Nobuyuki Mizuno<sup>2</sup>, Masaya Fujita<sup>3</sup>, Shuhei Nasuda<sup>2</sup>, Kenji Kato<sup>1</sup> (1. Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2. Grad. Sch. Agr., Kyoto U., 3. NICS)

【P6】オオムギの形質転換効率に関する遺伝学的解析 ○久野裕・宗森広美・元井由加・佐藤和広 (岡山大学・植物研)

【P7】アジアのパンコムギにおける変異 Wx タンパク質の発現解析 ○井上祥一・田上一保・田中悠・田中裕之 (鳥取大農)

【P8】寒地型芝草の SSR マーカーによる品種識別と分子系統樹 ○川野千穂・田中裕之 (鳥取大農)

【P9】GWAS によるサツマイモ塊根の着色に関するゲノム領域の同定 ○木村拓海<sup>1</sup>・田中勝<sup>2</sup>・磯部祥子<sup>3</sup>・田原誠<sup>1</sup>・門田有希<sup>1</sup> (1. 岡山大院・環境生命科学, 2. 九沖農研, 3. かずさ DNA 研究所)

【P10】シロイヌナズナにおける CYP78A ファミリーの機能解析 ○小夫家雄二郎・上田浩晶・草場信 (広島大・院・理)

【P11】遺伝子欠損の影響により成長率を促進させる新奇短い遺伝子の同定 ○古賀日奈子<sup>1</sup>・武田智之<sup>1</sup>・金有王<sup>1</sup>・樋口美栄子<sup>2</sup>・大林祝<sup>1</sup>・岡本昌憲<sup>3</sup>・清水みなみ<sup>2</sup>・吉積毅<sup>2</sup>・中南健太郎<sup>2</sup>・仁志蘭子<sup>2</sup>・篠崎一雄<sup>2</sup>・関原明<sup>2</sup>・松井南<sup>2</sup>・花田耕介<sup>1,2</sup> (1. 九州工業大学, 2. 理研・CSRS, 3. 宇都宮大学)

【P12】屋上緑化 *Phedimus* 属植物 (常緑キリンソウ) の新品種開発に向けた種間雑種個体の作出 ○梶妙子<sup>1,2</sup>・藤田道明<sup>1</sup>・辻本壽<sup>3</sup> (1. (株) フジタ, 2. 鳥取大学大学院連合農学研究科, 3. 鳥取大学乾燥地研究センター)

【P13】植物ホルモン・ブラシノステロイド (BR) の伝達を阻害するペプチド“AT32”の受容機構の解明 ○近藤隆之<sup>1</sup>・大林祝<sup>1</sup>・岡本昌憲<sup>2</sup>・児玉豊<sup>2</sup>・吉積毅<sup>3</sup>・原口武士<sup>4</sup>・樋口美栄子<sup>3</sup>・清水みなみ<sup>3</sup>・野元美佳<sup>5</sup>・多田安臣<sup>5</sup>・軸丸裕介<sup>6</sup>・神谷勇治<sup>3</sup>・篠崎一雄<sup>3</sup>・桑田啓子<sup>7</sup>・日下部宜宏<sup>8</sup>・李在萬<sup>8</sup>・花田耕介<sup>1,3</sup> (1. 九州工業大学情報工学部, 2. 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター, 3. 理化学研究所環境資源科学研究センター, 4. 千葉大学理学部, 5. 名古屋大学遺伝子実験施設, 6. アジレントテクノロジー, 7. 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, 8. 九州大学農学部)

【P14】キクタニギクにおける頭状花序形成機構の解析 ○小塚俊明・白岩一平・中野道治・谷口研至・草場信 (広島大・院・理)

【P15】コムギにおける高温ストレス耐性機構の解明のためのメタボローム解析 ○松永幸子<sup>1</sup>・Itam M.<sup>2</sup>・Elbashil A.<sup>2</sup>・山崎裕司<sup>3</sup>・妻鹿良亮<sup>3</sup>・Gorafi Y.<sup>3</sup>・Tahil I.<sup>4</sup>・辻本壽<sup>3</sup> (1. 鳥取大・院・持続国際乾燥地, 2. 鳥取大・連大院・農, 3. 鳥取大・乾地研, 4. スーダン農業研究機構)

【P16】Studies on genetic variation of wheat-related species, *Aegilops tauschii*, to enhance wheat diversity ○Mazin M. M. Mahjoob<sup>1,3</sup>, Y. S. A. Gorafi<sup>1,3</sup>, Y. Yamasaki<sup>2</sup> and H. Tsujimoto<sup>2</sup> (1. Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2. Arid Land Research Center, Tottori University, 3. Agricultural Research Corporation (ARC), Sudan)



【P17】 ツツジ雑種個体の花色における色素構成とフラボノイド水酸化関連遺伝子の影響 ○ミーンチャイピボン スニサ<sup>1</sup>・人見茉美<sup>2</sup>・小林伸雄<sup>3</sup>・中務明<sup>3</sup> (1. 鳥取大院連合農学研究科, 2. 鳥根大院生物資源研究科, 3. 鳥根大生物資源科学部)

【P18】 Drought Response in Bread Wheat and Tolerance Screening of Synthetic Derivatives ○ Michael Itam<sup>1</sup>, Sachiko Matsunaga<sup>2</sup>, Ryosuke Mega<sup>3</sup>, Yuji Yamasaki<sup>3</sup>, Izzat Tahir<sup>4</sup>, Hisashi Tsujimoto<sup>3</sup> (1. Graduate School of Agricultural Sciences, Tottori University, 2. Graduate School of Sustainability Science, Tottori University, 3. Arid Land Research Center, Tottori University, 4. Agricultural Research Corporation, Sudan)

【P19】 「出雲おろち大根」 根部着色新系統の育成と形質評価 榊川貴紀<sup>1</sup>・○中務明<sup>2</sup>・小林伸雄<sup>2</sup> (1. 鳥取大院連合農学研究科, 2. 鳥根大生物資源科学部)

【P20】 日本のオオムギ品種間交雑に由来する2分離集団を用いた出穂期関連遺伝子の解析 ○西田英隆<sup>1</sup>・横田真吾<sup>1</sup>・金古卓磨<sup>1</sup>・青木恵美子<sup>2</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命, 2. 農研機構・次世代作物開発研究センター)

【P21】 DNA マーカーを用いたアワ NEKODE1 のマッピング ○西岡紀花<sup>1</sup>・榊本尚人<sup>1</sup>・高木宏樹<sup>2,3</sup>・寺内良平<sup>2,4</sup>・福永健二<sup>1</sup> (1. 県立広島大生命環境学, 2. 岩手生物工学研究センター, 3. 石川県立大学, 4. 京都大学農学研究科)

【P22】 Iso-Seq を利用したサツマイモの高精度な完全長 cDNA 配列の構築 ○小野菜奈<sup>1</sup>・牛島幸一郎<sup>1</sup>・田淵宏朗<sup>2</sup>・田原誠<sup>1</sup>・門田有希<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命科学, 2. 九沖農研)

【P23】 Production of interspecific hybrids between melon and wild species of Cucumis ○ Mst. Naznin Pervin<sup>1</sup>, Tran Phuong Dung<sup>1</sup>, Gentaro Shigita<sup>1</sup>, Tomoko Ishikawa<sup>2</sup>, Katsunori Tanaka<sup>3</sup>, Hidetaka Nishida<sup>1</sup>, Kenji Kato<sup>1</sup> (1. Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2. Ibaraki Agricultural Center, Plant-Biotechnology Institute, 3. Fac. Agr. Life Sci., Hirotsuki U.)

【P24】 コムギ育種系統「超極早生」が保有する新規早生遺伝子が出穂期関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ○佐

藤日向子<sup>1</sup>・増田春花<sup>1</sup>・西田英隆<sup>1</sup>・水野信之<sup>2</sup>・那須田周平<sup>2</sup>・藤田雅也<sup>3</sup>・加藤鎌司<sup>1</sup> (1. 岡山大院環境生命, 2. 京都大院農, 3. 農研機構・作物開発センター)

【P25】 青色光による葉老化制御機構の解析 ○下野起将<sup>1</sup>・小塚俊明<sup>1</sup>・井上良平<sup>1</sup>・草場信 (広島大・院・理)

【P26】 形態形成に影響を及ぼす新規短い遺伝子の網羅的な探索 ○武田智之<sup>1</sup>・金有王<sup>1</sup>・樋口美栄子<sup>2</sup>・大林祝<sup>1</sup>・岡本昌憲<sup>3</sup>・清水みなみ<sup>2</sup>・吉積毅<sup>2</sup>・中南健太郎<sup>2</sup>・仁志蘭子<sup>2</sup>・篠崎一雄<sup>2</sup>・関原明<sup>2</sup>・松井南<sup>2</sup>・花田耕介<sup>1,2</sup> (1. 九州工業大学, 2. 理研・CSRS, 3. 宇都宮大学)

【P27】 植物における新規ホルモン様ペプチドの探索 ○鳥居怜平<sup>1</sup>・金有王<sup>1</sup>・樋口美栄子<sup>2</sup>・嶋田知生<sup>3</sup>・深尾陽一朗<sup>4</sup>・大林祝<sup>1</sup>・岡本昌憲<sup>5</sup>・清水みなみ<sup>2</sup>・田村麻美<sup>1</sup>・吉積毅<sup>2</sup>・中南健太郎<sup>2</sup>・仁志蘭子<sup>2</sup>・関原明<sup>2</sup>・篠崎一雄<sup>2</sup>・松井南<sup>2</sup>・花田耕介<sup>1,2</sup> (1. 九州工業大学, 2. 理化学研究所, 3. 京都大学, 4. 立命館大学, 5. 鳥取大学)

【P28】 エチレンとストリゴラクトンの2段階制御を介した葉老化促進 ○上田浩晶<sup>1,2</sup>・草場信<sup>1</sup> (1. 広島大・院・理, 2. 日本学術振興会)

【P29】 アフリカ・ボツワナ共和国における油糧植物ジャトロファの分子遺伝学的解析 ○上野山遼<sup>1</sup>・七里吉彦<sup>1,2</sup>・Gwafila Chiyapo<sup>3</sup>・甲斐政親<sup>1</sup>・石本雄大<sup>1</sup>・難波栄二<sup>1</sup>・Charles Mazereku<sup>3</sup>・明石欣也<sup>1</sup> (1. 鳥取大, 2. 森林総研, 3. ボツワナ農務省)

【P30】 イネ stay-green 遺伝子 DYE1 の単離と機能解析 ○山谷浩史<sup>1</sup>・上妻馨梨<sup>1</sup>・中野道治<sup>1</sup>・林依子<sup>2</sup>・高見常明<sup>3</sup>・加藤裕介<sup>3</sup>・門田有希<sup>4</sup>・熊丸敏博<sup>5</sup>・奥本裕<sup>6</sup>・田中歩<sup>7</sup>・阿部知子<sup>2</sup>・坂本亘<sup>3</sup>・草場信<sup>1</sup> (1. 広島大・院・理, 2. 理研仁科センター, 3. 岡山大資源植物研究所, 4. 岡山大・院・環境生命科学, 5. 九州大学・院・農, 6. 京都大学・院・農, 7. 北海道大学・低温科学研究所)

【P31】 小麦粉生地を強める高分子量グルテニンサブユニット遺伝子を含む *Thinopyrum elongatum* 染色体 1E 長腕部分領域のジェノタイプリングと雄性側伝達率 ○安原悠<sup>1</sup>・林奈津子<sup>2</sup>・赤松紗也加<sup>2</sup>・田中裕之<sup>2</sup> (1. 鳥取大院持, 2. 鳥取大農)



【P32】オオムギ 2H 染色体に座乗する新規早生 QTL が遺伝子発現に及ぼす影響の網羅的解析 ○横田真吾・田部涼太・西田英隆・加藤鎌司（岡山大学院環境生命）

## 〈四国地区〉

### 日本育種学会四国談話会

日本育種学会四国談話会第 82 回講演会が 2017 年 11 月 30 日（木）・12 月 1 日（金）に徳島県立農林水産総合技術支援センターにおいて、日本作物学会四国支部会・徳島県立農林水産総合技術支援センターと共催で行われた。参加者は 17 名であった。

#### ●公開シンポジウム

テーマ：「徳島県立農林水産総合技術支援センターにおける育種の取り組み」

#### ●日本育種学会四国談話会 第 82 回講演会

1. 「佐田岬しあわせプロジェクト」における佐田岬半島自生有用植物を主とした栽培・繁殖の検討  
—フジバカマの繁殖と近縁種について—

○佐藤麻衣<sup>1</sup>・秋丸國廣<sup>2</sup>・牛山眞貴子<sup>3</sup>・片岡圭子<sup>1</sup>・大橋広明<sup>1</sup>（1. 愛媛大学農学部, 2. 愛媛大学社会連携機構, 3. 愛媛大学社会共創学部）

2. シコクカッコソウの花色と花色素および花冠 pH との関係

○栢本愛里<sup>1</sup>・本藤加奈<sup>2</sup>・片岡圭子<sup>1</sup>・大橋広明<sup>1</sup>（1. 愛媛大学農学部, 2. 愛媛大学学術支援センター遺伝子解析部門）

3. サトイモ疫病の感受性に関する品種間差異

○中川建也・栗坂信之・芝田英明（愛媛県農林水産研究所）

4. サトイモの疫病感受性に影響する要因

○栗坂信之・中川建也・芝田英明（愛媛県農林水産研究所）

5. 効率的でオフターゲット効果を低減したゲノム編集法確立の試み：薬剤誘導性 Cas9 タンパク質発現植物系統の作出

○三好沙季・八丈野孝・小林括平（愛媛大学大学院農学研究科）

6. シロイヌナズナにおけるカリフラワーモザイクウイルス Tav 遺伝子誘導性病徴様表現型発現機構の遺伝学的解析：病徴様表現型を回避する突然変異体のスクリーニング法

○寺田忍・八丈野孝・小林括平（愛媛大学農学研究科）

7. Effects of earliness genes on yielding ability in rice

○Bhattarai, M.<sup>1</sup>, M. Kamimukai<sup>1</sup>, B. B. Rana<sup>2</sup>, T. Kawano<sup>1</sup>, M. Murai<sup>1</sup>（1. Faculty of Agriculture and Marin Science, Kochi University, 2. United Graduate School of Agriculture Sciences, Ehime University）

8. イネの早生遺伝子が穂形質に及ぼす作用

○上向井美佐<sup>1</sup>・B. B. Rana<sup>2</sup>・M. Bhattarai<sup>1</sup>・河野俊夫<sup>1</sup>・村井正之<sup>1</sup>（1. 高知大学農林海洋科学部, 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科）

9. イネ難脱粒性突然変異体を用いた遺伝学的解析

○矢野里実・笹部健司・杉田（小西）左江子（香川大学農学部）

## 〈九州・沖縄地区〉

第 12 回日本育種学会九州育種談話会を、2017 年 12 月 8 日（金）に佐賀大学農学部で開催した。今回の談話会は、イチゴおよび柑橘類の育種、植物と微生物との相互作用、ダイズの生理生態に関する 4 題の講演と 24 課題のポスター発表で構成され、事前参加登録者 83 名を含む多数の参加者により活気あふれる意見交換が行われた。なおポスター発表に関しては投票の結果、ポスター番号 17 番の「画像解析を用いたイチゴ果実形態の定量解析および GWAS 解析」○永松志朗、坪根正雄、和田卓也、林篤司、七夕高也、磯部祥子、森美幸、平田千春、高田衣子、下村克己の 1 題が選定されて優秀発表賞を授与された。発表題目（講演およびポスター発表）は以下のとおり。

#### 〈講演〉

（1）「（研）農研機構・九州沖縄農業研究センターイチゴ育種グループの育種戦略と育成品種紹介」曾根一純（九州沖縄農業研究センター園芸研究領域 イチゴ育種グループ）

（2）「佐賀県における柑橘類の育種の現状について」田中義樹（佐賀県果樹試験場）

（3）「光による植物微生物相互作用の調節」鈴木章弘（佐賀大学農学部）

（4）「ダイズの一斉登熟性と窒素栄養」鄭紹輝（佐賀大学農学部）

#### 〈ポスター発表〉

（1）「イチゴ新品種「佐賀 i5 号」および「佐賀 i9 号」の育成」岡和彦、中島寿亀、西美友紀、伊東寛史、○木下剛仁、大坪竜太、溝口千佳、中山裕介、中尾雅明、田川愛、石橋泰之、小川浩樹（佐賀県農業試験研究センター）

（2）「桃色秋輪ギク新品種「佐賀 RK1 号」○坂本健一郎、高取由佳、宮崎雄太、千綿龍志、松尾洋一、川崎孝和、松村司、徳永敦子、大藪榮興（佐賀県農業試験研究センター）

（3）「ほおずき新品種「佐賀 H5 号」および「佐賀 H6 号」高取由佳、千綿龍志、宮崎雄太、松尾洋一、坂本健一郎、松村司、大藪榮興、○松本茜、月足公男（佐賀県農業試験研究センター）

（4）「直播栽培適性が高い焼酎用サツマイモ新品種「スズコガネ」の育成」○境哲文、小林晃、片山健二、藤田



- 敏郎, 吉永優, 高畑康浩, 甲斐由美, 藤田剛嗣, 岩井謙一 (九州沖縄農業研究センター水田作研究領域)
- (5) 「もち性二条大麦「くすもち二条」の育成」○杉田知彦, 平将人, 中村和弘, 松中仁, 河田尚之, 塔野岡卓司, 荒木均, 八田浩一, 藤田雅也, 久保堅司, 小田俊介, 波多野哲也, 関晶子, 西尾善太 (九州沖縄農業研究センター水田作研究領域)
- (6) 「アジア栽培イネ *O. sativa* とオーストラリア野生イネ *O. meridionalis* の交雑後代における種子形成機能遺伝子の脱落」○植村真郷, 保木良太, 西帯野翼, 池本悠一郎, 豊元大希, 田浦悟, 佐藤雅志, 石川隆二, 一谷勝之 (鹿児島大学大学院農学研究科)
- (7) 「アジアの野生イネとオーストラリアの野生イネの雑種第一代で見出された雑種黄化原因遺伝子の連鎖分析」○保木良太, 植村真郷, 池本悠一郎, 田浦悟, 一谷勝之 (鹿児島大学大学院農学研究科)
- (8) 「イネ日印交雑後代に見られる新規雑種弱勢現象」○豊元大希, 植村真郷, 保木良太, 池本悠一郎, 田浦悟, 一谷勝之 (鹿児島大学大学院連合農学研究科)
- (9) 「イネ雑種崩壊原因遺伝子の連鎖解析」○池本悠一郎, 大橋健二, 保木良太, 植村真郷, 豊元大希, 田浦悟, 一谷勝之 (鹿児島大学農学部)
- (10) 「イネ品種 PI231129 のイネ白葉枯病に対する抵抗性」○川口祥輝, 畠中京介, Constantione Busungu, 一谷勝之, 田浦悟 (鹿児島大学大学院農学研究科)
- (11) 「イネ品種コシヒカリのイネ白葉枯病に対する反応コシヒカリ × IR24 の組換え型自殖系統の病徴反応」○畠中京介, 川口祥輝, Constantione Busungu, 一谷勝之, 田浦悟 (鹿児島大学農学部)
- (12) 「イネ  $F_1$  花粉不稔遺伝子座 *S22B* のアソシエーション解析による原因変異の絞り込み」○梅原彩, 山形悦透, 吉村淳 (九州大学農学部)
- (13) 「*Oryza glaberrima* / *O. sativa* 間雑種クロロシスに関与する遺伝子座 *GHCI* の探索」○中村将太, 山形悦透, 安井秀, 吉村淳 (九州大学農学部)
- (14) 「Genetic dissection of anther length in introgression lines derived from *Oryza longistaminata*」○大上貴之, 山形悦透, 安井秀, 吉村淳 (九州大学農学部)
- (15) 「Genetic study of  $F_1$  pollen sterility at *S21* in divergence of AA genome rice species」○村上亮, 山形悦透, 安井秀, 吉村淳 (九州大学農学部)
- (16) 「キュウリ属の野生種における RAD-seq を用いた SNP 探索及び解析方法の検討」○白川篤史<sup>1</sup>, 永野幸生<sup>2</sup>, 有馬進<sup>3</sup>, 松本雄一<sup>3</sup> (1. 佐賀大院農学研究科, 2. 佐賀大総合分析セ, 3. 佐賀大農学部)
- (17) 「画像解析を用いたイチゴ果実形態の定量解析および GWAS 解析」○永松志朗, 坪根正雄, 和田卓也, 林篤司, 七夕高也, 磯部祥子, 森美幸, 平田千春, 高田衣子, 下村克己 (福岡県農林業総合試験場生産環境部)
- (18) 「コメグルテリンの生合成・蓄積に関わる因子の欠

- 損による貯蔵タンパク質の局在部位の変化」○福田真子, 小川雅広, 熊丸敏博 (九大農・植物遺伝子資源)
- (19) 「Guanine nucleotide exchange factor2 (GEF2) for Rab5 proteins is essential for intracellular transport of the proglutelin from the Golgi apparatus to the protein storage vacuole in rice endosperm」○Sobhy A., Fukuda M., and Kumamaru T. (九大農・植物遺伝子資源)
- (20) 「イネ *ae/sug1* 二重変異体における胚乳澱粉生合成解析」○中村哲洋, 熊丸敏博 (九大農・植物遺伝子資源)
- (21) 「Function of *ESPI1/eRF1* in the translation of prolamine polypeptides in rice endosperm」○Ammar Elakhdar, Tomokazu Ushijima, Masako Fukuda, Noriko Yamashiro, Yasushi Kawagoe, Toshihiro Kumamaru (九大農・植物遺伝子資源)
- (22) 「代謝成分の網羅的解析による国産グレープフルーツの特性解明」○木村祐太<sup>1</sup>, 穴井豊昭<sup>1</sup>, 駒井史訓<sup>2</sup> (1. 佐賀大農学部, 2. 株式会社アルビオン)
- (23) 「ダイズ遺伝資源および突然変異体を用いたイソフラボン含有量の多様性評価」○渡邊啓史<sup>1</sup>, 金武葉月<sup>1</sup>, 大津若菜<sup>1</sup>, 木村元気<sup>1</sup>, 加賀秋人<sup>2</sup>, 穴井豊昭<sup>1</sup> (1. 佐賀大学農学部, 2. 次世代作物開発研究センター)
- (24) 「イネの早生系統 TNAU6484 の出穂性に関する遺伝解析」○平野詩織, DEMETER Zita, 鄭紹輝, 藤田大輔 (佐賀大学大学院・農学研究科)



左 2 人は受賞著者ら, 右は開催校の穴井幹事

甲斐浩臣 (福岡県農林業総合試験場)

## 日本育種学会会員異動(2017.10.21 ~ 2018.4.20)

◇普通会員入会: 赤井浩太郎, 黒崎英樹, 齋藤優介, DWIYANTI MARIA STEFANIE, 富田謙一, 堀内優貴 (北海道), 高橋竜一 (秋田), 稲崎史光, 北澤則之, 中島一雄 (茨城), 高地伸夫 (千葉), 石綱史子 (東京), 関原明, 長嶺愛, 野村健三 (神奈川), 尾崎秀宣 (富山),

TA NHUNG KIM (静岡), 鈴木太郎 (愛知), 濱田晴康 (兵庫), 山崎裕司 (鳥取), 梅本耕輔, 坪根正雄, 轟貴智, 中西愛, 平田千春 (福岡)

◇**学生会員入会** : 井元佑亮, 貝沼宏太郎, 朴哲旰 (北海道), 湯澤彰太 (岩手), 大島麻由, 佐藤優衣 (宮城), 三浦聡子 (秋田), 西田悠希 (山形), 李貞恩, 北澤夏生, 小林希美, 鈴木岳, 松尾宏樹 (茨城), 高山大輝 (栃木), QU YINGWEI, YU PEI, 梶原大志, 菅谷元, 細貝拓磨, 柳江莉那 (東京), 砂押裕司, 中山理央 (神奈川), 秋山彩香 (新潟), 上田純平, 釜淵純輝, 木戸慎太郎, 木村萌, 田中恵美, 茶谷弦輝, 西山明希, 松田さくら, 三田聖人, 山口航平 (福井), 須田元輝, 福根達希 (長野), 岡村進之介, 龔方平, 塩田将平 (愛知), 村田和樹, 山下健太 (京都), 橋本舜平, 濱本亮 (大阪), 三木祐香, 笠澄望, 道川麻美 (兵庫), 川野千穂 (鳥取),

小野菜奈 (岡山), NGUYEN DINH CUONG (佐賀), ARIFIN HANA AKARI, CHOTEKAJORN AWATSAYA, PUSPASARI RINDA (宮崎), 池本悠一郎, 豊元大希 (鹿児島)

◇**外国会員入会** : HUANG YUNG-FEN (台湾), CHO SANG-KU (大韓民国), ALI JAUHAR (フィリピン)

◇**賛助会員入会** : 日本モンサント株式会社 (東京)

### 住所変更等

◇**普通会員** : 阪田光和, 寺本翔太, 船附秀行 (茨城), 高原学 (東京), 松元哲 (三重), 吉川貴徳 (京都), 市原寿子 (大阪), 石井孝佳 (鳥取), 春原英彦 (熊本), 齊藤大樹 (沖縄)

◇**学生会員** : 西村和紗 (京都)